

## 福祉教育常任委員会行政視察

視察日時：令和6年1月24日(水)～25日(木)

研修先：静岡県富士市、愛知県名古屋市

議員：藤川みゆき委員長、松原栄樹副委員長、森淳委員、  
副田悦子委員、川波忠臣委員

市職員：今井操教育部長、山岡展也議会事務局課長

### 富士市 「ユニバーサル就労について」

#### 【説明】

様々な理由で働きづらさを感じている全ての市民が対象に受けられる就労支援。適切な就労を行うことにより、就労に繋がる可能性と企業の人手不足解消に繋がる。

この事業が始まる発端は、平成26年11月に「ユニバーサル就労を拓げる親の会」から市に提出された要望書および市民の署名によるもので、翌年2月、市議会に「富士市議会ユニバーサル就労推進議員連盟」が発足した。主に議員側の推進で「富士市ユニバーサル就労の推進に関する条例」を全会一致で可決、施行、「ユニバーサル就労支援センター」が開設した。面接の仕方や履歴書の書き方、またセミナーの受講など必要な部分のアシスト役になっている。また企業側にも本人の特徴、特性を事前に伝えるなど、対象者と企業を繋ぐ役割をしている。そのことにより、就労の定着率が高い。現在、ユニバーサル就労推進事業の協力企業は224社(2023年4月1日時点)。

#### 【主な質疑】

- ・(問) 企業の協力が不可欠だと思いますが、企業の協力を得るための課題と対策は。  
(答) まずは、市内の企業にかたっぱしから電話をして企業に協力を求めた。門前払いもあった。企業の管理職に支援員が説明し、次に協力してもらえる部署に説明し、対象者ができる仕事を見つけるため、業務分解・業務の切り出しをしている。現場スタッフに説明した後は、体験・コンピューターの受入れをするなど、手厚くサポート。
- ・(問) オンラインでの相談やセンターに来れない人への対応は。  
(答) 基本、来所できる人のみが支援事業を受けられる。
- ・(問) 就労に行きつくまでのモチベーション対策は。  
(答) 何度も面接を受けては断られていたり、社会になじんでいないと自己肯定感が低い場合もあるので、まず自信をつけるためのセミナーを行うこともある。

#### 【所感】

「働きづらい」と一言と言っても様々な理由があるので、その様々な理由に合わせた支援をされているので理想的だと思います。特に履歴書だけでつまづいている人など、滞っている部分に手を差し伸べることで良い循環を生んでいると感じました。

自治体側が考えた枠での就労支援ではなく、その人に合った形の支援＝オーダーメイド

の支援をされていることに感心しました。対象者に出産育児で仕事を離れた女性がありましたが、外国籍の方々の対応はされていないという点は何とかできないのか、本市の場合に当てはめるとやはりその対応は必要だと思いました。事業の有効性を感じ、本市も取り組むべきだと強く思った事業でした。

## 名古屋市 「不登校、校内フリースクールについて」

### 【説明】

校内の空き教室を利用して不登校生徒が安心して居られる空間「ほっとルーム」を作り、登校の第一歩になるよう設置された。9時半から14時半ごろを開所時間とし、非常勤の先生がいる。視察先の八王子中学校は、たまたま養護教諭の有資格者が担当していることから生徒への配慮が行き届いた取り組みとなっている。1日の過ごし方は個々に考えて様々。学習のほか、絵を描いたり、習字、製作、様々に得意分野、やりたい事をしている。教室を利用する生徒は、不登校生徒だけでなく、少し気持ちを休めたい生徒が一時的に来る場合もある。実際に生徒が使っている状況で教室内を見学。

### 【主な質疑】

- ・(問) 教室以外の居場所を設定する上での課題は。  
(答) 友達関係で教室に居づらい生徒が「ほっとルーム」を利用しているのに、その関係性に悩んでいる相手の生徒も利用し、その居場所が安心できる場所にならなくなった場合があり、たまたま隣の教室も何とか使えたので良かったが、更に同様のパターンが出てくる心配がある。
- ・(問) 校内または市内での仕組みはどのようなものがありますか。  
(答) 常勤のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職で構成される、なごや子ども応援委員会を全市立中学校11校に設置し、子ども達が持っている様々な悩み、保護者の心配を総合的に支援している。また、「ハートフレンドなごや」という訪問相談を実施し、引きこもり傾向にある子ども達に寄り添った支援を行っている。

### 【所感】

学校の施設内にありながら学校に行きにくい生徒の居場所を作ることは斬新でした。教室以外の学校に留めておくことで生徒の様子を直に見ることができ、担任の先生やスクールカウンセラー等とも関係性が保てるメリットがあることを理解しました。立ち上げの時もかなり反発があり、不登校が改善されないという意見もありながら苦勞して進めてこられたことに感動しました。ただ、空き教室がそう簡単にあるのか、その点は懸念材料だと思いました。